

# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2017 AUTOBACS SUPER GT Report

48<sup>th</sup> INTERNATIONAL SUZUKA 1000km

第6戦 鈴鹿サーキット

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路/石浦宏明

◆8月26日(土) QUALIFY

公式予選総合結果 13位(1分49秒196)

<公式予選>天候：曇り コース状況：ドライ

素晴らしい追い上げをみせ、3位表彰台を獲得した第5戦富士から3週間。SUPER GTはシリーズの天王山の一戦と言える、第6戦鈴鹿1000kmを迎えた。このレースは2017年限りでSUPER GTとしての開催は最後。18年からはかたちを変えた10時間レースとなることが決まっており、"ラストレース"として大きな盛り上がりが予想されていた。



LEXUS TEAM ZENT CERUMOにとっては、昨年のこのレースは優勝を飾った思い出のラウンド。ただ、今年は前戦の3位表彰台もあり、ウエイトハンデが82kgという数字になった。そのため、エンジンのパワーに大きな影響を及ぼす燃料流量リストラクターが2ランク制限され、厳しい戦いになることも予想されていた。そうは言っても、この鈴鹿1000kmは獲得ポイントが通常よりも大きいため、チャンピオン争いのためにもなるべく上位でフィニッシュしたいレースだ。

27,500人もの観衆が訪れた予選日は朝方は雨が降り、午前9時20分からの



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

公式練習はウエットコンディションでスタートした。LEXUS TEAM ZENT CERUMO は立川祐路が主にステアリングを握り、午後の公式予選に向けて ZENT CERUMO LC500 のセットアップを確認していくが、いまひとつフィーリングが良くない。それは燃料流量リストラクターによるものだけではないフィーリングの悪さだ。



立川はピットインを繰り返しながら村田卓児エンジニアとともにセットアップを進めるものの、やはりなかなか思うように改善しない。午後 10 時 55 分からの GT500 クラス専有走行の時間で石浦に交代したが、やはり石浦もいいフィーリングは得られなかった。最終的に ZENT CERUMO

LC500 は立川が 16 周、石浦が 3 周をこなし、立川の 1 分 50 秒 544 がベストだったが、順位は 13 番手となった。

LEXUS TEAM ZENT CERUMO はこれまでのレースでも予選までに状況を改善し、予選グリッドを上げていたため、今回も少しでもパフォーマンスを上げるべく作業を続け、午後 2 時 55 分から行われた公式予選 Q1 に挑んだ。今回は立川がアタッカーだ。

立川は 15 分のセッションのうち、残り 8 分 11 秒というタイミングでピットを離れ、アタックに入っていく。2 周のウォームアップを行いアタックに入っていくが、やはり午前中に続きフィーリングがあまり良くない。それでも 1 分 49 秒 196 と、公式練習に比べタイムを上げたが、ライバル



はさらに大きくジャンプアップをみせていた。終わってみれば、ZENT CERUMO LC500 の順位は 13 番手。予選 Q2 への進出が可能な 8 番手には届

# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

かず、ZENT CERUMO LC500 は決勝レースを後方グリッドから戦うことになってしまった。

「持ち込みのセットアップを外してしまった」と村田エンジニアも悔しかったが、レースは1000kmもの長丁場。8月27日（日）のウォームアップ走行で素早くマシンを確認し、セットアップ変更を行い吉と出れば、上位進出は十分に可能だ。そしてLEXUS TEAM ZENT CERUMO は、今季これまでのレースでそれを達成している。



最後の1000kmを笑って終わるべく、LEXUS TEAM ZENT CERUMO はふたたび入念に ZENT CERUMO LC500 を仕上げ、長いレースでの追い上げを狙っていく。

## ドライバー／立川祐路

「今日の予選については、クルマのセットアップをうまく決め切れずおらず、苦しい展開となってしまいました。でも僕たちは今年、決勝レースでしっかり詰めることができているし、レースも長いですからね。見せ場は明日にとっておきます（笑）。昨年この鈴鹿はいいレースができていましたからね」



## ドライバー／石浦宏明

「公式練習は専有走行の時間にドライブしましたが、クルマの調子がいまひとつということで、セット変更を行ったものの、あまりいい感触は得られませんでした。立川選手の予選でも、リヤのグリップの問題があまり解消せず、いい結果を残すことができませんでした。このままではつらいですが、僕たちは今季、決勝のパフォーマンスはあるので、明日まで





# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

にしっかり解決して、長いレースを追い上げたいと思います」

## 浜島裕英監督

「厳しい結果に終わりましたが、同じくウェイトハンデが苦しい#37 LC500が8番手に入っているのので、我々に足りない部分があったと見なければいけないと思います。ただ明日はウォームアップ走行もありますし、ドライバーの情報からしっかりといいクルマに仕上げることができれば、長いレースなのでいい結果を出すことができるのではと思っています」



# LEXUS TEAM ZENT CERUMO

## 予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q1 Time	Q2 Time
1	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R	1'48.191	1'47.074
2	19	WedsSport ADVAN LC500	1'47.582	1'47.269
3	17	KEIHIN NSX-GT	1'48.407	1'47.648
4	64	Epson NSX-GT	1'48.224	1'47.812
5	46	S Road CRAFTSPORTS GT-R	1'47.588	1'47.977
6	100	RAYBRIG NSX-GT	1'47.576	1'48.202
7	12	カルソニック IMPUL GT-R	1'48.499	1'48.244
8	37	KeePer TOM'S LC500	1'48.196	1'48.713
9	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	1'48.588	
10	36	au TOM'S LC500	1'48.825	
11	6	WAKO'S 4CR LC500	1'49.002	
12	23	MOTUL AUTECH GT-R	1'49.146	
<b>13</b>	<b>38</b>	<b>ZENT CERUMO LC500</b>	<b>1'49.196</b>	
14	1	DENSO KOBELCO SARD LC500	1'49.229	
15	8	ARTA NSX-GT	1'50.120	